

授業概要

本講義は、国際会計の最終的目標（会計基準の国際的統合化）の実現に向けての努力の歴史、現状および将来の課題を学ぶものである。本講義の主な内容は、会計基準の国際統合の観点から、国際的統合を目指す国際的動向とその問題点についての解説、国際会計基準審議会（IASB）の国際会計基準（IAS/IFRS）の考え方やその特徴、また、その具体的な会計基準の解説などである。

授業計画

第1回	国際会計基準審議会の概要とその歩み
第2回	会計制度の国際的動向と日本の対応
第3回	IFRSの概念フレームワーク
第4回	財務諸表の表示
第5回	連結会計
第6回	企業結合会計
第7回	棚卸資産、有形固定資産
第8回	無形固定資産、資産の減損
第9回	金融商品の認識と測定
第10回	引当金と偶発事象
第11回	従業員給付会計
第12回	退職給付会計
第13回	リース会計
第14回	外貨換算会計
第15回	キャッシュフロー計算書の概要とその作成
第16回	定期試験

到達目標

会計国際化の理解を主なテーマとし、国際会計基準に準拠した財務諸表の作成や読み方ができることを目指す。

履修上の注意

複式簿記の原理を理解していることが望ましい。

予習復習

授業の理解度を高めるために、講義内容に合わせてIFRS関連記事を読ませる。

評価方法

- ・ 定期試験の成績により評価する。
- ・ 既定の出席回数を満たさない場合には原則として単位を認めない。

テキスト

- ・ 李 相和『会計国際化の研究』白桃書房、2011年。
- ・ 必要に応じて、資料を配布する。